

備前市事務事業評価シート

事業の概要		根拠法令・例規等	
事業開始年度			
総合計画	大項目 基本目標 02 健康でやさしさあふれるまちづくり	問	担当課(室) 社会福祉課
中項目	基本施策 01 やさしさあふれるまちづくり	合	職・氏名 課長補佐 江見清人
小項目	施策 03 障がい者(児)福祉	先	電話 64-1824
事務事業名	14 市民ふれあい福祉まつり事業	このシート作成に要した時間 1.5 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市内外を問わず、誰でも
目的(何のために)	障がい者や高齢者を含む誰もが社会参加できる福祉のまちづくりを推進する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民ふれあい福祉まつりに参加した人たちが一日楽しく過ごせるイベントにするとともに、障がい者の方々の社会参加の推進に寄与したい。

事業の実績		事業の説明	優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	岡山県福祉のまちづくり条例により高齢者や障がい者を含む誰もが参加できる福祉の松づくりを推進するため、啓発ポスター・標語の募集、表彰。金婚該当者の表彰。老人福祉・障がい者福祉功労者等の表彰。また、模擬店、バザー等を開催する。	

事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	
事業費	直接事業費	千円	460	450	450	
	必要人員費	人件費	0.17人	1,666	0.12人	1,222
	事業費		2,126	1,672	2,445	
決算額	国庫支出金	千円				
	受益者負担					
	繰入金					
	市債					
	その他()					
	一般財源		2,126	1,672	2,445	
	受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	
結果指標	ふれあい福祉まつり参加人数	説明	市民ふれあい福祉まつりに参加した人数			
	結果指標量		2,200	2,200	2,200	
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%	
	活動コスト	円	2,126,000	1,672,000	2,445,000	
	単位当たりコスト		966	760	1,111	

事業の成果		年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
成果指標名	市民ふれあい福祉まつりの参加者数	目標値(A)	2300	2350	2300	2350
		実績値(B)	2200	2200	2200	到達目標値
		達成率(B/A)	95.65%	93.62%	95.65%	2500
成果指標設定の考え方・式や説明						
市民ふれあい福祉まつりの参加者を増やしていきたい。						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C
	目的達成度	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
有効性の評価	市民参画度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C

進行年度(H25年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	昨年同様、こども応援フェスタと同日開催を予定しており、経費の削減を図るとともに、相乗効果による多くの来場者を見込んでいる。

総合評価	
参加者の大幅な増加を見込むことは難しいが、多くの団体の協力により盛大なまつりに成りつつあり、今後さらに多くの人たちに参加してもらえるまつりとなるよう事業内容の充実を図りたい。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C

平成26年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	現状維持で進めていきたいが、今後事業内容を見直しながら、最小の経費で最大の効果が得られるよう実施していく。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな